



ふれあいネットワーク

ゆふい

社協だより

2021年
7.21
No.63



由布市社会福祉協議会
デイサービス

※写真は月曜日利用者のみなさん

新型コロナウイルスに負けず
元気に!健康に!



もくじ

就任・退任あいさつ……………	2	地域コーナー……………	6~8
令和2年度事業報告(概要)……………	3	包括だより……………	9~10
令和2年度収支決算報告……………	4	寄付のお礼……………	11
福祉のひろば……………	5	お知らせ……………	12

この広報誌は一部共同募金の配分金で発行されています。

就任のあいさつ

社会福祉法人 由布市社会福祉協議会

会長 大野 茂喜



この度、令和三年六月二十二日の理事会において、前三ヶ尻隼人会長の後任として新たに選任を頂き、会長に就任いたしました。会長という重責に身の引き締まる思いでございます。誠心誠意、全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症がまだまだ収束を迎えられず、地域における課題が多様化するなか、皆様の助け合い、支え合いが、今後ますます重要になってきます。

私たち社会福祉協議会役員一同も、地域共生社会の実現を目指して、地域の皆様とともに課題解決に邁進し、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の更なる推進に取り組んでいく所存であります。

これからも皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げ、就任のあいさついたします。

退任のあいさつ

社会福祉法人 由布市社会福祉協議会

前会長 三ヶ尻 隼人



皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、私儀 令和三年六月二十二日をもちまして、会長の職を退任いたしました。

在任中の四年間、地域住民の皆様や理事、評議員、関係機関、団体の方々に支えていただきましたことに、心より御礼申し上げます。

就任以来、誰もが安心して暮らすことができる地域福祉の実現を目指してきました。また、令和二年の初頭から新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るうなか、地域の助け合い、支え合いが、地域福祉において重要であることを再確認できたところでございます。

まだまだ地域福祉課題は山積している状況ですが、大野新会長のもと由布市社会福祉協議会がますます発展していくことを心よりお祈りし、退任のあいさついたします。

全体概要

令和2年7月に発生した豪雨災害では、由布市も甚大な被害に見舞われました。由布市社会福祉協議会としては、由布市からの要請に基づき、由布市災害ボランティアセンターを7月13日(月)に開設し、8月3日(月)までの間、170名を超える多くの皆様のご支援とご協力により、被災された家屋の片づけや流入土砂の撤去など生活再建のための復旧支援を行いました。コロナ禍での運営の難しさと行政との連携の重要性を再確認したところです。

令和2年度の事業運営については、基本方針に掲げた地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応するための支援体制構築を進めるにあ

たり「断わらない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の三つの支援を一体的に行うための「互近助コミュニティ事業」を実施する推進体制の整備を進めて参りました。

また、介護保険事業では、在宅介護の柱として永年にわたり実施してきた訪問介護(ヘルパー)事業の継続可能性について由布市との協議を重ねて参りましたが、年度末をもって休止(廃止)する決断を余儀なくされました。

全体をとおして、新型コロナウイルス感染症対策に終始した1年でしたが、常に支援を受ける側の立場に立ち、「支える側」「支えられる側」との関係性を超えた人と人との繋がりを大切にされた事業運営を展開しました。

主な活動報告

法人運営	福祉機器の貸出	総合相談支援・障がい児・者相談事業
理事会 7回 監事監査 2回 評議員会 4回 役員会 1回	高齢者や障がい者等の方が自宅で安心して過ごせるように、ベッドや車いすの貸出をしました。 ベッド貸出 14台 車いす貸出 23台	心配ごと相談 14人 障がい児・者相談 515件 包括支援センター相談 2,834件 生活困窮者自立支援 465件
福祉サービス利用援助事業	福祉バスの運行	募金運動の推進
判断能力が不十分な方へ福祉サービスの利用に関する援助や、日常生活費の金銭管理のお手伝いをしました。 利用者 23名 290回	福祉団体等の研修、各種行事等に活用しました。 52回 841人	共同募金・歳末たすけあい募金等を推進し、地域福祉事業へ配分しました。
生活福祉資金貸付	ふれあい郵便	ボランティア支援・援助
低所得世帯に対し、資金の貸付を行うことにより、生活の安定を図りました。 相談受付 5件 貸付 3件	75歳以上のひとり暮らしの方へお便りを届けました。 年4回 3,779通	ボランティア団体・個人の活動振興や情報共有、交流を図るとともに、若い世代にも「福祉の心」を育てるよう支援しました。
福祉推進員の委嘱	広報誌の発行	社会福祉大会
各自治区に福祉推進員を委嘱し、民生委員児童委員や関係機関との連携を図り、安心して暮らせる地域社会を推進しました。	社協だよりを発行しました。 発行回数 年4回	永年、社会福祉事業に功績があった方を称え表彰するとともに、社会福祉の進展を図る目的で大会を実施しました。
見守り活動	給食サービス	友愛訪問
登下校時の子ども達の安全を願い、見守り活動を民生児童委員、老人クラブ会員で実施しました。	ひとり暮らしの高齢者の方へ、食生活改善推進協議会の方が調理されたお弁当を民生委員児童委員がお届けしました。 年1回	民生委員児童委員、老人クラブ会員による訪問活動を行いました。
配食サービス	各種団体との連携	生活支援体制整備事業
65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯で、自分で調理や買物ができない方を対象に食生活の改善と健康増進を図り、併せて、配達時に安否確認を行いました。	民生委員児童委員協議会・老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会連合会・ボランティア連絡協議会との連携を図りました。	高齢者の生活支援サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援等サービスの提供体制に向けたコーディネート機能を果たしました。

社会福祉法人由布市社会福祉協議会の令和2年度事業収支決算状況を報告いたします

社会福祉法人由布市社会福祉協議会 会長 大野 茂喜

令和2年度 決算報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	214,888,816	流動負債	22,779,527
現金預金	188,842,998	事業未払金	19,980,776
事業未収金	24,417,425	預り金	1,170,358
立替金		借受金	1,628,393
前払金	1,628,393	固定負債	1,860,000
固定資産	84,952,881	退職給付引当金	1,860,000
基本財産	10,048,940	負債の部合計	24,639,527
土地	48,940	純資産の部	
定期預金	10,000,000	基本金	10,000,000
その他固定資産	74,903,941	基本金	10,000,000
建物	698,063	その他の積立金	64,703,120
車輛運搬具	2,481,960	車輛購入等積立金	11,623,252
器具及び備品	3,513,899	備品施設整備等積立金	53,079,868
ソフトウェア	620,719	次期繰越活動増減差額	200,499,050
福祉資金貸付金	830,000	次期繰越活動増減差額	200,499,050
退職給付引当資産	1,860,000	(うち当期活動増減差額)	567,511
その他の積立資産	64,703,120		
その他の固定資産	196,180	純資産の部合計	275,202,170
資産の部合計	299,841,697	負債及び純資産の部合計	299,841,697

脚注 1.減価償却費の累計額 41,057,050円
2.徴収不能引当金の額 0円

事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目	決算額
サービス活動収益	
会費収益	5,403,510
寄附金収益	3,768,000
経常経費補助金収益	61,296,470
受託金収益	121,108,171
貸付事業収益	1,500
事業収益	284,730
負担金収益	6,303,060
介護保険事業収益	111,409,840
障害福祉サービス等事業収益	5,632,450
サービス活動収益計(1)	315,207,731
サービス活動支出	
人件費	239,771,771
事業費	53,396,270
事務費	15,607,192
共同募金配分金事業費	7,276,896
分担金費用	0
助成金事業	1,480,000
負担金事業	580,600
減価償却費	2,771,684
徴収不能額	0
サービス活動費用計(2)	320,884,413
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	▲ 5,676,682
サービス活動外収益	
受取利息配当金収益	22,214
その他のサービス活動外収益	5,829,992
サービス活動外収益計(4)	5,852,206
サービス活動外費用	
サービス活動外費用計(5)	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	5,852,206
経常増減差額(7)=(3)+(6)	175,524
特別収益	
固定資産売却益	392,000
特別収益計(8)	392,000
特別費用	
固定資産売却損・処分損	13
特別費用計(9)	13
特別増減差額(10)=(8)-(9)	391,987
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	567,511
前期繰越活動増減差額(12)	197,874,845
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	198,442,356
基本金取崩額(14)	0
基金取崩額(15)	0
その他の積立金取崩額(16)	2,060,000
その他の積立金積立額(17)	3,306
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	200,499,050

社会福祉法人由布市社会福祉協議会

役員及び評議員名簿

※令和3年6月22日改選

理事7名

役職	氏名
会長	大野 茂喜
副会長	淵野けさ子
常務理事	秋吉 孝治
理事	土師 壽三
理事	安部 和子
理事	加藤 康男
理事	江藤 実子

監事2名

監事	志柿 正蔵
監事	衛藤 哲雄

評議員10名

役職	氏名
評議員	馬見塚重利
評議員	佐藤 剛夫
評議員	後藤 久生
評議員	工藤 康則
評議員	山出 三男
評議員	田中真理子
評議員	浦松 辰信
評議員	原田 禎二
評議員	江藤 修一
評議員	馬見塚美由紀

福祉のひろば

福祉推進員とは?



福祉推進員とは、住民に最も身近な自治会等の小地域において、福祉問題を発見し、解決のため近隣住民に働きかけたり、民生委員児童委員などと協力して活動を推進していく、社会福祉協議会会長から委嘱された地域のボランティアです。

各地域の福祉推進員のお名前です。
よろしくお願い致します。



福祉推進員名簿

挾間		【任期】令和3年4月1日～令和5年3月31日												
高山	崎口	大後	野藤	浩英	一	朴朴	木木	下上	首藤	美智子	喜多	里	内田	すみ子
七蔵	司	坂本	藤本	英ス	三子	医大	大	3	濱田	智広	サニータウン	挾間	葛津	正和
中	台	神部	戸部	多賀	美	サントピア	古	野	黒川	木畑	谷中	村	大佐	和明
来鉢	東	安部	藤哲	也	生	北宮	上	田	川	宮	阿	篠	林	力子
来鉢	中	佐小	野	久	美	宮	上	田	奴留	湯	篠	谷	仲元	順誠
来鉢	西	小	野	美	子	宮	上	田	高	甲	安	東	工藤	藤生
北	代	中	野	勝	美	鬼	向	中	高	安	園	佐	田	江藤
南	代	大	野	美	重	向	中	野	高	安	園	佐	田	江藤
		佐	野	美	重	向	中	野	高	安	園	佐	田	江藤
三古	船	湯	宮	成	志	鬼	池	茅	山	二	田	同	生	田
古	野	釘	荒	成	志	鬼	池	茅	山	二	田	同	生	田
赤	野	荒	成	志	鬼	池	茅	上	山	二	田	同	生	田
海	毛	園	成	志	鬼	池	茅	上	山	二	田	同	生	田
丸	田	荒	成	志	鬼	池	茅	上	山	二	田	同	生	田
東	行	荒	成	志	鬼	池	茅	上	山	二	田	同	生	田

庄内		【任期】令和3年4月1日～令和5年3月31日																		
畑	田	佐	藤	績	柿	原	1	区	土	屋	美	恵	大	龍	西	部	田	中	文	徳
みどり	住宅	日	野	幸	患	原	2	区	衛	藤	英	子	五	龍	ヶ	瀬	森	田	洋	子
猪野	竹ノ	藤	岡	貞	夫	原	3	区	瀨	藤	友	江	龍	ヶ	瀬	稻	垣	由	政	勝
長	野	小	縣	タ	子	野	4	区	工	藤	礼	子	ド	リ	ム	五	工	日	野	啓
葛	原	生	野	賢	一	野	5	区	田	山	喜	雄	櫟	五	ヶ	木	三	野	野	修
佐	平	佐	西	恵	策	野	6	区	森	生	勝	操	五	蛇	福	口	重	岡	貞	子
橋	斐	津	行	恵	昌	日	ヶ	喜	工	藤	麻	代	長	宝	団	地	松	左	藤	小
甲	水	多	田	寿	美	永	十	野	菅	正	正	美	小	野	透	屋	房	前	康	子
宇	南	江	戸	論	一	伊	小	野	佐	藤	一	朝	高	津	透	内	長	尾	忠	美
小	松	竹	林	一	子	高	野	原	山	塚	和	英	久	瀬	保	口	小	伊	野	生
深	谷	永	松	龍	博	中	野	村	大	山	八	子	中	宗	尾	寺	井	首	藤	光
雲	取	衛	松	龍	博	中	野	村	河	野	二	子	中	宗	尾	寺	井	首	藤	光
小	原	末	野	博	文	原	出	下	河	野	二	子	中	宗	尾	寺	井	首	藤	光
東	家	生	塚	裕	生	井	上	重	河	野	二	子	中	宗	尾	寺	井	首	藤	光
平	石	大	木	庸	介	上	野	内	高	野	二	子	中	宗	尾	寺	井	首	藤	光
下	武	黒	野	明	美	野	内	区	高	野	二	子	中	宗	尾	寺	井	首	藤	光
上	武	日	木	五	月	大	龍	東	野	二	子	中	宗	尾	寺	井	首	藤	光	子
叢	草	佐	藤	高	信	大	龍	東	野	二	子	中	宗	尾	寺	井	首	藤	光	子
中	宮	佐	藤	高	信	大	龍	東	野	二	子	中	宗	尾	寺	井	首	藤	光	子

湯布院		【任期】令和2年4月1日～令和4年3月31日														
塚	原	縣	藤	幸	雄	荒	木	小	野	多	恵	槐	木	日	野	ゆ
津	江	加	島	三	威	石	武	山	本	直	子	畑	倉	吉	野	かり
岳	本	藤	中	幸	子	光	永	阿	部	元	美	奥	江	橋	藤	司
湯	坪	島	本	豊	美	東	1	森	元	幹	信	上	良	健	野	志
の	島	山	藤	尚	子	東	2	永	柳	子	子	津	々	々	野	翠
中	原	江	田	実	美	東	3	小	美	代	子	々	々	々	野	子
佐	柳	福	野	禎	博	西	石	吉	美	子	子	平	平	平	洗	子
並	杉	河	口	英	則	山	平	志	厚	子	子	湯	湯	湯	手	子
若	丸	溝	正	秀	剛	中	依	佐	祥	子	子	湯	湯	湯	手	子
乙	丸	轟	秀	初	子	下	依	秋	三	子	子	湯	湯	湯	手	子
乙	丸	雨	初	子	音	前	依	大	子	子	子	湯	湯	湯	手	子
新	町	佐	藤	子	枝	内	野	佐	子	子	子	湯	湯	湯	手	子
新	町	倉	橋	枝	枝	内	野	日	子	子	子	湯	湯	湯	手	子



由布市災害ボランティアネットワーク連絡会 名簿

所属・団体名	
由布市 (福祉課・防災安全課)	
由布市社会福祉協議会	
挾間地域自治委員会	
庄内地域自治委員会	
湯布院地域自治委員会	
挾間町民生児童委員協議会	
庄内町民生児童委員協議会	
湯布院町民生児童委員協議会	
由布市建設業組合	
由布地区LPガス協会	
由布市防災士会	
由布市商工会	
由布市ボランティア連絡協議会	
由布市災害ボランティアバイク隊	
コープおおい	
イオン 挾間店	
JAおおい 庄内支店	
株式会社デンケン	

アドバイザー		
NPOリエラ 代表理事	松永	謙矢
気象予報士・防災アドバイザー	花宮	廣務
大分県社会福祉協議会		
大分県消費生活・男女共同参画プラザ 県民活動支援室 室長	佐藤	美穂
大分県中部振興局 次長 (地域防災監)	前田	憲生
大分県中部振興局 地域創生部長 (被災者支援班)	山本	勝紀

由布市災害ボランティアネットワーク連絡会 設立

令和3年5月20日に「由布市災害ボランティアネットワーク連絡会」が設立されました。(当日は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、書面での開催となりました。)

この「災害ボランティアネットワーク連絡会」の設立に至った経緯として、昨年の7月豪雨の際、災害ボランティアセンター運営での気づきや改善すべき点などを踏まえ、「今後も予想される南海トラフ地震をはじめとする大規模自然災害に対して、即応可能なネットワークが必要」と考えました。

そこで、常日頃から防災や減災について情報共有ができる「顔の見える関係づくり」や、非常時には情報を集約し、「円滑な支援活動ができる体制」を作るために市内外の法人、団体、個人の皆さまに声掛けをさせていただき、今回この趣旨にご賛同いただくことができました。

今後、「由布市災害ボランティアネットワーク連絡会」では研修会や、市民向け防災セミナー等で研鑽を重ね、ボランティアセンターの円滑な運営に取り組んでまいります。

災害ボランティアセンター運営研修会

令和3年7月9日に「令和3年 第1回災害ボランティアセンター運営研修会」を大分県立庄内屋内競技場で行いました。

今回の研修会には60名が参加し、由布市社協とネットワーク参加団体が共働で災害ボランティアセンターを運営する仕組みを理解し、顔の見える関係づくりを目的として開催しました。

講師のNPOリエラ代表理事の松永謙也氏から「発災後のニーズ(困り事)の聞き取り」、「適切な資機材選びの方法」など災害ボランティアを派遣するまでの手順について講話がありました。



「暮らしの応援隊」をぜひご利用下さい

年を重ねると、ちょっとしたお手伝いがあるだけで、自分らしく暮らすことができます。

暮らしの応援隊(有償ボランティア)が高齢者等の自宅を訪問して、ゴミ出しや庭仕事のお手伝いなどの生活支援サービスを提供します。

具体的には、掃除、大掃除、洗濯、衣替え、買い物の付き添い、ゴミ捨て、市役所等での手続きの支援、蛍光灯の交換、電池交換、ストーブの灯油補充、かたい瓶の蓋の開け閉め等のちょっとしたことのお手伝いをします。

暮らしの応援隊の利用に関する問い合わせや、お手伝いを希望される方は暮らしのサポートセンターにご連絡ください。



5月10日(月)に開設

暮らしのサポートセンター

場所 スマイル広場(庄内町東長宝)内

午前10時～午後3時は、専任の連絡員が常駐していますので、お気軽にご相談ください。平日(火曜日を除く)

問い合わせ

☎090-4075-1390

民生委員児童委員 活動報告

民生委員児童委員は、一定の担当地区を受け持ち、地域や関係する機関と手を取り合い、みなさんがその人らしく自立した生活ができるよう暮らしを応援する人たちです。その活動の一部を紹介します。

広報活動

5月12日～
5月18日



全国の民生委員児童委員は共通して、5月12日から1週間を「活動強化週間」とし、民生委員児童委員活動周知のための取り組みを強化する期間としています。

由布市でも、期間中は各地域で横断幕を掲示し、活動の周知を図りました。

地域貢献事業コーナー

ゆふ支え愛こども食堂からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策のため、開催を見合わせています。お弁当等の配布を検討中です。

開催するときは、あらためてチラシ・ポスターでお知らせします。



あなたの地域の 集いの場

いつまでも元気で由布市で暮らしていけるよう、様々な工夫を凝らしたサロン(集いの場)が開催されています。近くのサロンに参加して、笑顔と運動でいつまでも健康で過ごしましょう。

湯布院 湯平・花合野川ふれあい人 (お茶の間サロン)

日時 毎月第3水曜日 10時～11時30分

場所 湯平ふれあいホール

昨年、豪雨により、河川氾濫、橋は流され、大変な被害を受けた湯平地区の高齢者の心身機能の低下が心配でした。地域在住の方がお茶の間サロンの立ち上げに手を挙げてくださり、4月よりスタートしました。おもしろ、おかしく体を動かし元気に活動しています。



挾間 三船お茶の間サロン (GG)会(お茶の間サロン)

日時 毎週木曜日 9時～11時

場所 三船公民館グラウンド

「こたつの中でテレビの番をするよりも野外に出て一緒に楽しみましょう」の呼びかけで、令和元年に発足して今年度サロンに登録されました。

健康で活力あふれる人生が送れるように!! 笑いあふれる中でのプレーを楽しみに、現在20名で頑張っています。



庄内 ふきのとう (お茶の間サロン)

日時 毎月第2または第3木曜日 10時～11時30分

場所 五ヶ瀬集会所

庄内地域は新年度から6団体が加わり、30団体が活動を登録されました。今回は東庄内地区の新しいお茶の間サロン「ふきのとう」を紹介します。

登録人数10名のサロンで、健康体操、神楽ばやし体操、レクリエーション等を行います。

お茶の間サロン申請の際、お話の中で「みんなで集まって顔を合わせることが一番大事」と、地域のつながりを大切にされているのがとても印象的でした!

お茶の間サロンをきっかけに、今まで以上に地域のつながりが強まることを応援しています!



お茶の間サロンに移動販売!

令和3年4月、庄内地域のお茶の間サロン「星のふるさと平石」で、地元商店の移動販売が行われました。

今回の移動販売は、サロン世話役の大塚勝正さんと庄内町の「さとう商店」との話の中で、買い物支援が地域でどれだけ必要とされているか現状を知るために実現しました。

体操やレクリエーションを終えて、外に並べられた商品の多さにびっくり! カップラーメンに果物に…ゆっくり時間をかけて買い物をされていました。

さとう商店の佐藤洋一代表は実店舗の営業があるため、移動販売は不定期開催ですが「地元の方のお役に少しでも立てるなら嬉しい」と話されていました。





由布市あんしんネット 見守りQRシールのご案内

ほうかつ
ご持たより

由布市では、認知症などで行方不明となった方の早期発見・保護のための「見守りQRシール」を作成しました。衣服などにシールを貼り付けることで、徘徊に気付いた方がスマートフォンなどでQRコードを読み取ると、市、警察の連絡先が表示されます。

シールに記入されている番号を連絡先に伝えていただくと身元が判明し、早期に保護できるようサポートする仕組みです。

対象者

「由布市あんしんネット」に事前登録された方に配布します。

由布市あんしんネットとは？

認知症高齢者などが徘徊等により行方不明になった時に、協力機関等に情報を提供し、連携をとることで行方不明者の早期発見・保護につとめる仕組みです。

※ 事前登録とは

- 認知症等により行方不明が心配される場合、事前に、本人の年齢、性別、体格等の情報を由布市役所高齢者支援課に登録します。
- 由布市で登録された情報は、大分南警察署にも伝えられます。そのため、行方不明になった時にスムーズな捜索活動につながります。

※ 事前登録対象者

- 認知症と診断された方。認知症の診断はないが、その疑いのある方。
- 徘徊により、行方不明の恐れのある障がいのある方。



配布数

対象者1人につき1シート(10枚)を無料で配布します。

シールはアイロンなどの熱で服や靴に簡単に貼り付けることができます。



シール見本



事前登録に関する問い合わせ先

由布市役所高齢者支援課 ☎ 097-529-7349

由布市地域包括支援センター (認知症地域支援推進員) ☎ 097-582-0106

見守りQRシールの利用方法



オーラルフレイルに気をつけましょう

オーラルフレイルは口腔機能の軽い低下や食の偏りなどを含む身体の衰え(フレイル)のひとつです。

注意

コロナ禍で会話が減ったり、マスクをすることで無意識に口周りの筋力が低下します。

むせたり、柔らかいものばかりを食べる、滑舌が悪くなるのはオーラルフレイルの症状です。

口腔機能の低下から全身の機能低下につながります。

早めに気づいて予防しましょう。



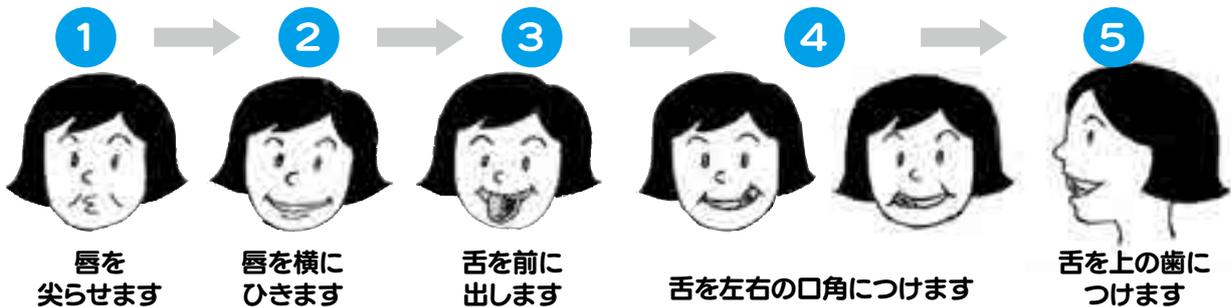
図※口腔機能の低下への悪循環

出典：日本歯科医師会HP
リーフレット『オーラルフレイル』

自分でできるオーラルフレイル対策

舌の筋肉を鍛え、飲みこみの機能を高めます

口腔体操



大分県立看護科学大学 大学院生が実習に来ました

豪雨災害調査カンファレンス



オレンジカフェ

6月14日から6月18日の5日間、大分県立看護科学大学大学院 広域看護学コース2年生9名が実習に来ました。昨年度の豪雨災害の調査やオレンジカフェに参加しました。地域包括支援センターでの学びを今後の活躍に活かしていただることでしよう。

由布市地域包括支援センター

由布市庄内町庄内原321番地4
(由布市ほのぼの工芸館)
TEL097-582-0106 FAX097-582-0108

由布ささえんジャー



開所時間

月～金曜日
(祝日を除く)
8:30～17:00

寄付のお礼

市民の皆様のおかげで、ご芳志に感謝申し上げます。

由布市社会福祉協議会へ次の方々から香典返し等ご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申し上げます。

ご寄付は地域福祉推進のため有意義に活用させていただきます。お名前及び寄付金額等の記載につきましては、ご本人の意向に沿っての掲載とさせていただきます。皆様方のご理解のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

令和3年4月1日～令和3年6月30日までの受付分を記載しています。

香典返し (敬称略)

挾間

園田 宏治	中 村	金 一 封
三ヶ尻 アイ子	上 市	金 一 封
佐藤 文雄	高 崎	金 一 封
阿南 勝彦	下 筒 口	金 一 封
松村 ミツヨ	上 市	金 一 封
工藤 仁徳	医 大 3	金 一 封
竹中 靖典	北 方	金 一 封
後藤 幸治	古 野	三〇、〇〇〇円
長田 眞治	北 方	三〇、〇〇〇円

庄内

間藤 一浩	龍 原	一〇〇、〇〇〇円
工藤 宣行	平 石	金 一 封
栗林 量教	野 畑	一〇、〇〇〇円
佐藤 正幸	西 長 宝	金 一 封
大嶋 あい子	平 石	金 一 封
佐藤 豪	西 長 宝	一〇、〇〇〇円
吉広 豊喜	東 長 宝	金 一 封
河野 智之	大 西 龍	金 一 封
橋本 加代子	大 龍	金 一 封
小川 智仁	大 龍	金 一 封
佐藤 希一	阿 蘇 野	金 一 封
宮本 昭治	野 畑	金 一 封
工藤 浩一	五 ヶ 瀬	金 一 封
江藤 弘司	五 ヶ 瀬	金 一 封
長尾 康孝	庄 内 原	金 一 封
佐藤 和歳	長 野	五〇、〇〇〇円
佐藤 和明	高 岡	金 一 封
小原 康司	五 ヶ 瀬	三〇、〇〇〇円
安部 年美	小 挾 間	金 一 封
安部 千恵子	柿 原	金 一 封
佐藤 和子	柿 原	金 一 封

一般寄付

挾間

後藤 幸男 篠原 金 一 封



うちょうらん
羽蝶蘭
湯布院 新町1
後藤久生さま

社会福祉協議会 ご寄付された方々 へのお知らせ

これまで個人が社会福祉法人へ寄附金を支出した場合、所得控除制度が適用されてきました。平成23年税制改正による新たな税額控除制度は、寄附金のうち2,000円を超える部分の40%を所得税から控除できることになりました。(個人が、一定の要件を満たした社会福祉法人へ寄附金を支出した場合、当該寄附金について、税額控除制度の適用を受けることができます。)

税制改正前の寄附金控除制度

● 所得控除
(所得金額 - 所得控除額) × 税率 = 税額



税制改正後の寄附金控除制度

● 税額控除
税額 - 税額控除額 = 納税額

★ 税額控除額の算出式 個人が支出した寄附金について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下の算式より算出された額が、所得税額から控除されます。

$$\{ \text{税額控除対象寄附金}(\times 1) - 2,000\text{円} \} \times 40\% = \text{控除対象額}(\times 2)$$

※2 控除対象額は、所得税額の25%を限度とします。

※1 税額控除対象法人への寄附金額
寄附金支出額が、総所得金額等の40%に相当する金額を超える場合には、40%に相当する額が税額控除対象寄附金となります。

この額が所得税額から控除されます。

詳細につきましては、
最寄りの税務署及び
市の税務課にお尋ね下さい。

ご利用ください！

無料

お座敷いす貸出のお知らせ

由布市社会福祉協議会では、お座敷いすを無料で貸出しています。公民館活動や地域行事、ご自宅での集まりごとなどの際にご利用ください。貸出・返却は庄内事務所でいきます。なお、一度の貸出は20脚までです。詳しくはお問い合わせください。



椅子があるといいなあ...



お問合せ・お申込み 由布市社会福祉協議会 地域福祉課 (担当：岩尾)
TEL：097-582-2756

親子ふれあいツアーの延期について

新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、当初予定していた日にちから延期いたします。

10月に延期

日 時 令和3年
10月31日

行き先 城島高原パーク(予定)

参加対象 母子・父子世帯の親子(高校生まで)

参加費 無料

申込先 各社協事務所及び地域の民生委員児童委員



お問合せはこちらまで

地域福祉課 (担当：岩尾)
TEL：097-582-2756

想いに心をこめて
平成会館
(有)庄内葬儀社

24時間
365日
受付

由布市庄内町庄内原311の4
TEL097-582-0401・582-3303 FAX582-1965
新HP <https://shounaisougisha.com/>

新車・中古車販売
車検・一般修理・钣金塗装取扱い

(有)エイ・ワン・モーター販売

由布市庄内町櫟木1029-2
TEL097-582-3266 FAX097-582-2237

発行 社会福祉法人 由布市社会福祉協議会

本 所 〒879-5434 由布市庄内町庄内原365番地1
庄内事務所 TEL 097-582-2756 FAX 097-582-2878

挟間事務所 〒879-5502 由布市挟間町向原128番地1
由布市役所挟間庁舎3階
TEL 097-583-4344 FAX 097-583-1041

湯布院事務所 〒879-5102 由布市湯布院町川上2863番地
TEL 0977-84-3610 FAX 0977-85-4921

★★★ 編集後記 ★★★

昨年の災害から一年がたちます。
改めて追悼の意を表すと共に、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。
復興もまだ完全ではないと思いますが、オリンピックも始まり、少しずつでも心に活気が出てくるといいなと、希望と期待を待ち望んでいます。(そ)